

## 第63回 福山市美術展 表彰式 講評

■ 7月10日(日)15時よりふくやま美術館に於いて第63回福山市美術展覧会表彰式が行われた。



審査員の先生方



受賞者のみなさん



優秀賞の高橋光恵さん



書奨賞の丹木恵香さん

※書奨賞・・・ふくやま書道美術館奨励賞



奨励賞代表の林桜華さん



努力賞代表の寺田和雪さん

■ 7月10日(日)16時10分より同美術館に於いて伊豆田雪岳先生による講評が行われた。

● 伊豆田雪岳先生講評



今回の第63回福山市美展前衛書部の作品を拝見して率直に感じましたことは、どの作品にも生命力が漲っており、会場全体が躍動感に溢れていることでした。

来期に向かって更なる進展のために、先哲の言葉二つを紹介します。

一つは、ノーベル物理学賞受賞の、江崎玲於奈先生の言葉に「先生に学ぶのは良いが、先生にどっぷり漬かりきってはならない。」つまり、先生に溺れてしまうと、それ以上の自分を造れなくなるという警告です。

二つ目は、能楽の神様、世阿弥の言葉に「ものを究める者は、時にファンを欺くほどの変革を成さねばならない」つまり、惰性で同じ傾向のものばかり書いては自己変革ができないということの警告です。

「前衛書らしきもの」を書いているだけでは前衛書家とは言えません。私たちは常に未知なる世界に挑戦し、自己変革を実践する宿命を背負っていることを忘れてはならないと思います。

● 山田翠香先生審査評

昨年より、随分応募点数が増え大変うれしく思っております。作品はそれぞれバラエティーに富み、線の強さを強調したもの、余白の美しさを強調したもの、それぞれの個性を生かしてありました。その中でも入賞、入選した作品は輝き、響きがあります。それは、造形の美はもちろん、鍛えられた線の美、それが作品の命です。どうか次回も素晴らしい作品を期待致します。

(福山市美術展覧会 審査評より)

受賞者集合写真

● 受賞者の皆様



■ 前列：大楽華雪会長、伊豆田代表委員、山田代表委員、迫審査員、土居審査員、西原審査員、佐藤審査員